

連続上位ランキング中!

~Amazon ランキング~

松本祐著 「頭のよい子が育つ家」のつくり方

「住まいと健康」部門

第 3 位!!

(12月16日現在)

<カスタマーレビュー>

子育てに「住まい」がこれほど影響を与えるなんて、今まで考えてみませんでした。
どうしたら子供が伸び伸びと感性豊かに育ってくれるかなと夫婦でいつも話していましたが、
この本で言われているように「住まい」とあわせて考えるとなんだか自分たちにも出来そうな気がしてきました。

子育てと家づくりを夫婦で楽しもう!

そんな前向きな気持ちになりました。子育てに悩んでいるお母さんたちを応援してくれる本ですね。

<カスタマーレビュー>

単純に頭のよい子なんて聞くと、勉強ができる子の意味と捉えがちです。
でも、この本はそれだけでなく、もっと広く、深い意味です。
単純に子供のことだけに焦点を当てたものではなく、家づくりに大切なものは? 家族とは?

様々なことを教えてくれる本です。



行列のできる工務店社長が明かす
家族みんなが幸せになる
家づくりの極意

家を建てるときに見失ってはいけない大切なことが分かる本

いつも家族の気配や動きを感じられる家は自然に「よい子」が育ちます。

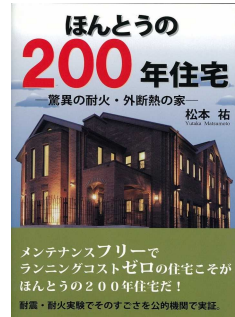
LaLaのご来場者の70%が会長本の読者です。

グレート
スモール
カンパニー

小さな会社に学ぶ奇跡の伝説

瀬戸川礼子

行列のできる工
近代ホーム。
その超優良経営の秘



<カスタマーレビュー>

200年住宅とは何かを1から10まで語ってくれている本だと思いました。我が国ではまだまだ始まったばかりの『長期優良住宅』という考え方。

詳しく知りたくても情報をどこから得たらいいのか...そんな方にぜひ読んでいただきたい。家づくりのことを最近考えだした方からもうかなり勉強されている方まで、どんな人にも必ず役立つ、とても為になる本だと思います。

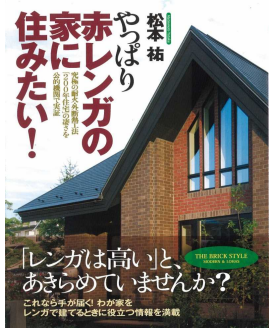


<カスタマーレビュー>

私たち住んでいる側で大きな問題は、当然のことですが、両親が高齢になってきたことです。

建てた当初は室内に高低差のない意味でのバリアフリーが盛んに取り上げられ、車いすの生活になっても、介護する側もされる側も楽に過ごすことができますと説明された記憶があります。

今になって思えば、車いす生活を憂うより、その前にもっと快適な住まい心地の良い家を見極める目を持たなければならなかったのだと後悔しています。高低差のないことも大事だと思いますが、室内どこにいても温度差のないバリアフリーな環境が、快適な住まい心地にはなくてはならないものだ痛切に感じました。



<カスタマーレビュー>

煉瓦の家は高いと最初は諦めていました。けれど、実はそうでもなさそうだということが書いてあり最初は『えっ?!』と思いましたが、読み進めるうちになぜ安く供給できるのかが分かり、これがもし、事実だったら私も、本のタイトルではないが、「やっぱり赤レンガの家に住みたい!」です。本著ではわかりやすく、なぜ赤レンガの家が地震に強いのか、長持ちするのか、冬暖かく、夏涼しいか、など私の常識を超えた内容がたくさん詰まっておりますとても参考になりました。

構造など難しいことについて苦手な私にも本当にすんなり入ってくる本でした。

<カスタマーレビュー>を読むと、他の人がどんなところを気にして、家づくりをしているのかというのを見ることが出来るので、今まで気づかなかった発見が多々出てくるのではないのでしょうか?生涯で一度建てれるか建てれないかという人も多いはず。是非他の方の意見も参考にしてみてください。

